第６学年１組　社会科「新しい日本，平和な日本へ」

「Always 三丁目の夕日」の世界をスクープしよう！

指導者　　大野　耕作

1　単元設定の理由

○　本小単元は，小学校学習指導要領第６学年の目標と内容に基づき，「戦後から現在まで」の後半部分を内容として設定した。学習指導要領には，以下のように示されている。

（1）我が国の歴史上の主な事象について，人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財，資料などを活用して調べ，歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに，自分たちの生活の歴史的背景，我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

ケ　日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

内容構造図

【総合的にまとめると見えること】
戦後，民主的で平和的な国家として出発した日本は，戦争の被害がありながらも，国民の不断の努力と高い技術，平和への理念によって国民生活を向上させ，オリンピックを契機にさらなる発展を遂げた。

【戦後の改革と国民生活】
戦後改革を行った日本は，戦争の被害がありながらも，人々が力を合わせて暮らしを向上させ，平和的で民主的な国家として出発した。

- 日本は、連合国の指導により、民主的な改革を行い、平和主義的な憲法を設定し、新しい国家として出発した。
- 戦争による被害がありながらも、人々は力を合わせて暮らしを立て直し、生活を向上させてきた。

【復興と復帰】
国民の不断の努力と高い技術，平和への理念によってオリンピックを成功させた。その成功が国民に自信と勇気を与え，産業の発展と共に国際社会で大きな役割を果たすようになった。

- 日本は、平和条約を結んで独立を回復し、国際連合に加盟して、国際社会に復帰した。
- オリンピック開催に向けて、首都高速や新幹線などのインフラ整備を行い、その高い技術が日本の復興を支えた。
- オリンピックが東京で開かれ、日本の復興が世界に印象づけられ、国際社会の中で大きな役割を果たすようになった。

【新たなる日本へ】
日本は平和で豊かな国の一つになったが，未解決や新たな問題も抱えている。

- オリンピックをきっかけにさらに産業が発展したが、公害などの環境問題も生まれた。

○単元観

本単元は，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かることをねらいとしている。

戦後，我が国は連合国の指導のもと様々な改革を行い，民主的で平和的な国家として新しく出発した。戦争の被害が残る中，人々は自分達の暮らしを築こうと，力を合わせて生活を立て直してきた。そして 1964 年に東京オリンピックを開催し，このオリンピックを契機に日本は高度経済成長期を迎え，奇跡の復興を遂げた。

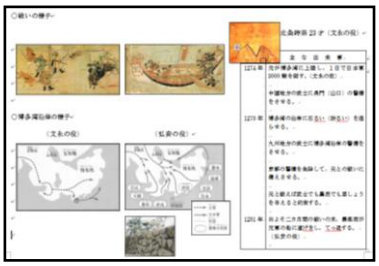
当時，人々は決して豊かとは言えないが，互いに助け合い支え合いながら暮らしを築いてきた。尾道市の人々も，戦後改革や物資不足の影響から造船業や鉄鋼業は思うように仕事ができず，鍋や農機具を作って生活をしのぎ，捕鯨船の修繕を行いながら少しずつ仕事を増やしてきた。戦後初めて貨物船を建造した時には，大きな喜びを分かち合ったようである。この時代，テレビや冷蔵庫，洗濯機が登場するが，これらを使った生活は人々にとって豊かさを表すものであると同時に，戦後から自分達で暮らしを立て直してきた証とも言える。

また当時国民が釘付けになったのが東京オリンピックである。戦後からわずか 20 年，戦争の傷跡が残る東京でオリンピックを開催することは並大抵のことではなかった。競技場はもちろんのこと，宿泊施設，人々の移送，交通渋滞の解消など様々な問題が立ちはだかっていた。その中で作られたのが首都高速や新幹線である。新幹線は「夢の超特急」と言われ，「速度が速くなると脱線し乗客の命が危険になる」という技術的な問題を抱えていた。開発には，鉄道関係者だけでなく元海軍で戦闘機や無線の開発に携わっていた技術者も参加し，見事オリンピック開催の 10 日前に開通させた。技術者の情熱を支えていたのは，戦争への後悔の念と，新しい時代に向けてだれも命を落とすことのない人々が喜べる物を世に送り出したいという思いであった。このような願いが集結し，オリンピックが実現できたのである。オリンピックの開会式，聖火を見て多くの人が涙したと聞く。その涙には，戦後，暮らしを必死に築いてきた苦労や世界の一員として国際社会の仲間入りができたことへの嬉しさ，逆境を乗り越え他国を招き入れることができるまで復興を遂げた喜びなど様々な思いが込められているのであろう。

児童にとって，これらのことを学習することは，現在の私達の生活が，厳しい戦後の生活の中，これからの社会の発展を願い努力し支え合ってきた先人達の営みがあって成り立っていることに気付くと共に，先人達への感謝の念や今後の我が国の発展について主体的に考えていく素地を培うよき機会になると考える。

○児童観

本学級の児童（28 名　男子 16 名，女子 12 名）は，歴史の学習に対して意欲的な児童が多く，児童アンケートでは『歴史が好き』と 90%（25／28）の児童が回答している。その理由としては「歴史上の人物の様子や出来事を知ることができる」「昔のくらしと今のくらしの違いを知ることが楽しい」などが主な理由であった。また自分が興味・関心をもったことやテーマに関わる情報を集めることができる児童が多い。「元寇」の学習では，文永の役と弘安の役を絵図や年表をもとに考える学習を行った。結果は以下の通りである。



「文永の役と弘安の役の絵図はそれぞれどちらでしょう。」

【正答】　○○○○○○○○

①年表と地図を関連させて考えている・・・・・21%（6／28）

②地図の資料をもとに考えている。・・・・・・・5%（8／28）

③年表の出来事の情報を抜き出して考えている・・25%（7／28）

【誤答・無答】・・・・・・・・・・・・・・・・・14%（4／28）

これらのことから，児童は歴史的事象を一つ一つの情報としてとらえるに止まり，それらをつなげたり関連させたりして資料を読み取ることが十分でない。そのため，歴史上の出来事や人物の働きがどのような意味を持ち，それらが人々の暮らしや世の中にどのような影響をもたらしたのか，自分なりに意味付けして考えることが難しい児童も少なくない。

○指導観

指導に当たっては，終戦直後からオリンピック開催に向け，人々がどんな問題を抱え，それらをどのように乗り越えながら復興を成し遂げたか考えるように単元を構成する。

まず「Always 三丁目の夕日」のシーンを視聴させ，当時どんなものが登場し，終戦直後から人々の暮らしがどのように変化してきたのか調べる意欲を持たせる。

調べる段階では，まず家族や身近な人から聞き取り調査をする活動を取り入れ，テレビや冷蔵庫などを初めて使った時の喜びや驚き，その前後の様子などをつかませる。その中で，尾道市の復旧の様子を取り上げ，戦争による被害がある中で人々が暮らしをどのように築いてきたのかとらえさせる。その際，写真や年表だけでなくゲストティーチャーの話を聞き，より確かに理解できるようにする。

次にオリンピック開催について調べる段階では，終戦直後と開催当時の様子を比べたり外国から日本を訪れた人の声を読んだりして，日本がなぜ「奇跡」と呼ばれる復興を成し遂げることができたのか調べる課題を作る。その際，年表から首都高速や新幹線の開通など，オリンピック開催に向けて多くの事業が成し遂げられたことをつかませ，それらについて調べる計画を立てる。首都高速や新幹線の開通については，ビデオを視聴させたり，資料を持たせたりして，その背景や難局を乗り越えた理由について自分なりに考えさせる。その中で，新幹線の開発に携わった人達が，国際社会の復帰や世の中を豊かにしようと願い，これまで培われた技術を平和のために生かそうとした営みにふれさせ，戦争という厳しい時代から新しい時代を生み出そうとする人々の努力や願いをつかませる。

まとめの段階では，オリンピックの手記を読み，お年寄りや大人，子どもなど様々な立場の人達がオリンピックを通してどんなことを感じたのか考えさせ，当時を過ごした人々の自信や喜びについて様々な角度からとらえさせる。そして，これらのことをもとに，この時代のキャッチコピーを考えて記事にまとめる活動を行い，学習したことを自分なりに意味付けたり考えを深めたりできるようにする。

2　単元の目標

○　日本国憲法の制定，オリンピックの開催など我が国の戦後の歩みを通して，戦後我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるとともに，平和で民主的な国家の一員として，これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとする。【理解・態度】

○　我が国の戦後の歩みから学習問題を見出し，地図や年表，家族の話，資料館，その他の資料を活用して調べたことをまとめるとともに，戦後民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや，平和で民主的な国家の一員として世界の人々とともに生きていくことの大切さについて思考・判断したことを表現する。【能力】

3　単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
単元の評価規準	○我が国の戦後の歩みに関心をもち，進んで調べようとするとともに，平和で民主的な国家の一員として，これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとしている。	○我が国の戦後の歩みについて学習問題や予想，学習計画を考え，表現するとともに，戦後，我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや，平和で民主的な国家の一員として世界の人々とともに生きていくことの大切さについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。	○日本国憲法の制定，オリンピックの開催など，我が国の戦後の歩みについて，地図や年表，家族の話，資料館，その他の資料を活用して必要な情報を集めて読み取り，年表，作品などにまとめている。	○戦後我が国が民主的な国家として出発し，国民の不断の努力によって国民生活が向上し，国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことがわかっている。

4　指導計画（全10時間）

次	学習活動	めざす児童の姿	評価規準（評価方法）
一	終戦直後のまちの様子とオリンピック開催当時のまちの様子を比べ，学習課題を作る。（1）	**東京タワーやテレビなど様々なものが登場し，東京オリンピックが開催された。終戦から人々はどんな生活をしてきたのだろう。**	○　戦争が終わった後の社会の変化に興味・関心をもち，学習課題について調べようとしている。 【関・意・態】（ノート）
	終戦後の日本の変化を調べて，「Always　三丁目の夕日」の世界をスクープしよう！		
二	戦後行われた改革や日本国憲法について調べる。（1）	**戦後行われた改革によって日本は平和的で民主的な国家として出発した。**	○　各種の資料から，我が国が民主的な改革と平和主義的な憲法を制定することにより，新しい国として出発したことを読み取っている。 【技能】（ノート，観察）
	暮らしぶりが豊かになりつつある人々の生活について調べる。（1）	**テレビをみんなで楽しんだ。冷蔵庫，洗濯機などが登場し，暮らしぶりが少しずつ豊かになってきた。でもその前はどうだったのかな。**	○　地域や家族の方に聞き取りをしたり，各種の資料を使ったりして情報収集している。 【技能】（ノート，観察）
	ゲストティーチャーの話を聞き，暮らしの向上とそれらを支えてきた人々の努力について知る。（1）	**戦後はすぐ暮らしが良かったわけではなく，苦しい状況の中，助け合い，がんばって暮らしを向上させてきた。**	○　戦争が終わった後，人々がどのような暮らしぶりをして，どうやって生活を向上させてきたか分かっている。 【知・理】（ノート，観察）
	東京オリンピック開催の様子やその前後の出来事を調べ，新たな課題を作る。（1）	**東京オリンピック当時，外国から来た人は，日本の発展ぶりに驚いた。戦後から20年も経たないのに，なぜ日本は復興できたのだろう。**	○　東京オリンピック開催前後の発展ぶりに興味をもち，学習課題について調べようとしている。 【関・意・態】（ノート）
	なぜ日本は，戦後からわずかな間で，「奇跡」と呼ばれる復興を成し遂げることができたのだろう。		
	日本が国際社会に復帰するまでの世界とのかかわりについて調べる。（1）	**日本は独立を求めて世界に働きかけ，国際社会の仲間入りを果たした。**	○　国際社会の動きの中で，日本の独立が承認され，国際社会の仲間入りを果たしたことが分かっている。 【知・理】（ノート，観察）
	オリンピックの開催にあたり，いくつもの課題があったことを知り，それらをどのように解決したか調べる。（1）	**道路の渋滞や施設の不足，移動手段の不足。オリンピック開催にはたくさんの問題があったが，新しい都市づくりを実現させて解決した。**	○　オリンピック開催に向けて，新しい都市づくりを進め，高速道路や地下鉄，新幹線が作られたことを資料から読み取っている。 【技能】（ノート，観察）

	新幹線の開発が，どのような願いを込めてやり遂げられたのか調べる。　（1） （本時７／10）	**戦争で使われた技術を，世の中の人々の暮らしや発展のために生かそうとしてがんばったからこそ，世の中の暮らしが変化したんだな。**	○　世の中の暮らしが発展したことを，平和を願い，高い技術を人々の暮らしや産業の発展に役立てようとしたことを理解している。 【知・理】（ワークシート）
三	オリンピックの手記を読み，三丁目の人達の思いを考える。（1）	**終戦後，マイナスから出発した日本は，様々な努力と人々のがんばりで復興を成し遂げた。東京オリンピックには，復興を願い，がんばってきた喜びと平和への思いが込められている。そのような人々の汗と涙の上に私たちの暮らしが成り立っている。**	○　戦後の復興がもたらした自信や勇気ついて，様々な立場の人の視点に立って考えている。【思・判・表】（ノート）
	日本が復興を成し遂げるまでの営みをふり返り，学習したことをスクープ記事にまとめる。（1）		○　戦後の復興の歩みについて，戦後の改革や国民の努力，平和への願いとかかわらせて適切に表現している。 【思・判・表】（作品）

5　本時の展開

(1) 本時の目標

○　新幹線の開発について調べ，当時の人々が平和を願い，高い技術を人々の暮らしや産業の発展に役立てようとしたことを理解している。

(2) 観点別評価規準

○　世の中の暮らしが発展したことを，当時の人々が平和を願い，高い技術を人々の暮らしに役立てようとした営みとかかわらせて理解している。　【知識・理解】

(3) 準備物

写真資料「終戦直後の暮らし」「新幹線開発」，「オリンピック開催の様子」
読み物・視聴覚資料「新幹線ができるまで」

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点（○）と支援（◆）	評価規準（評価方法）
1　新幹線誕生の経緯を知り，学習課題を確認する。	○　終戦直後の写真を提示し，戦争の影響で，飛行機や船など鉄を使ったもの作りに規制がかけられ，技術者や労働者がフライパンや農機具を作って生活をしのいでいたことを押さえる。 ○　新幹線を作った人と特攻機を作った人が同じ人物であることを伝え，学習課題を設定する。	
さまざまな困難がある中で，人々はどんな願いを込めて新幹線を完成させたのだろう。		
2　新幹線と特攻機を比べ，気付いたことを出し合う。	○　「目的」「性能」「大きさ」などの視点から共通点や相違点を出し合い，二つとも最高水準の技術でありながら，新幹線は人々	

	を安全に運ぶことに着目させる。	
3　開発を進める上で生じた問題と解決までの営みを知る。	○　ＶＴＲを視聴させ，技術者の努力や情熱についてイメージを膨らませて感じさせる。 ◆　開発までの様子を表した写真を提示し，解決までの苦悩や喜びに共感させる。	
4　「新幹線を見た人々の声」を読み，なぜ当時の人々が新幹線開発をやり遂げようとしたのか話し合う。	○　新幹線開発に携わった技術者だけでなく，政府の人，一般の人，お年寄り，子ども，日本を訪れた外国の人などの反応を伝える。 ◆　ワークシートを使って，新幹線を見た人々の共通点を考えさせる。 ○　外国の方や当時の国民に対して，新幹線をアピールする意義について考えさせ,「復旧・復興を進めた成果」や「近代的な国作りの成果」,「平和な国として出発した証」や「次世代への希望」を示そうとしたことに気付かせる。 ○　新幹線と戦闘機の目的のちがいや戦争の前後で作ったものを比べ，平和で豊かな世の中を作ろうとした人々の意識の変化に気付かせる。その際，終戦後の造船進水式の写真を提示し，当時，日本の各地で，人々が力を合わせて暮らしや世の中を変えようとしてきたことにふれ，戦後を生きた人々全てが日本の復興に貢献したことに気付かせる。	
5　学習のまとめをする。 人々は，終戦直後のきびしい暮らしに負けずにがんばってきた証や世界の人々に負けないような国作りを進めたこと，自分達の技術を世の中の平和に使うという願いを新幹線に込めて作り，外国の人や未来を担う子ども達に示そうとした。		○　世の中の暮らしが発展したことを，平和を願い，高い技術を人々の暮らしに役立てようと当時の人々の営みとかかわらせて理解している。 【知・理】 （ワークシート）
6　新幹線開通の実況解説を書く。 （評価問題）	○　ワークシートを使って，開通の喜びや開発までの苦労を考えてまとめさせる。	